

栃木市神田町6-6  
下都賀教育事務所  
ふれあい学習課  
0282-23-3422  
E-Mail  
shimotuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp



# タウンサポーター



## とちぎの高校生「じぶん未来学」

栃木県教育委員会では、やがて親となる子どもや若者が、親・家族・家庭などの意義や役割、地域の人間関係など地域社会について主体的に学ぶことにより次世代を育成し、地域への愛着や定住意識の醸成を図るとともに、地域を支える気持ちをはぐくむため、とちぎの高校生「じぶん未来学」プログラムを開発しています。プログラムは「自分」「親」「子ども」「家族」「地域」「社会」の6つの視点があり、高校3年間で学びます。家庭、公民、総合的な学習の時間、特別活動の授業等を活用し、教科担任や学級担任が実施することになります。1月25日には、高校の先生を対象に研修会を実施しました。平成28年度4月入学者から、県立高校で開始予定です。



## 下都賀地区ふれあい学習ネットワーク

2月2日(火)野木町公民館にて、下都賀地区ふれあい学習ネットワーク兼下都賀地区生涯学習研究会第3回研修会が行われました。前半は、宇都宮大学特任准教授 若園雄志郎氏による、演題「地域における青少年の育成とネットワーク 大学での取組を手がかりとして」の御講演をいただきました。後半は、「子どもたちをよりよく育てていくためにそれぞれの立場でどのようなことができるか」をテーマに班別協議をしました。

参加者からは、「何事も他人事ではなく、自分のこととして積極的に関わることの大切さを学びました。」「地域に愛着を持ち、地域を誇れる子どもたちを育てていきたい。」等のご意見をいただき、有意義な時間を過ごせたことが伺えました。



小山市

## 地域をつなぐふれあい学習

栃木市

## おやま市民大学「ボランティアガイド養成コース」

おやま市民大学は、平成27年度から渡良瀬遊水地と歴史のボランティアガイドを養成するコースを新設しました。

既に数人の市民ガイドが活躍しています。渡良瀬遊水地では、市民ガイドが市内のほぼ全小学校3年生の学習会を担当しています。

おやま市民大学では、ガイドの先輩方を「アドバイザー」として招き、講座の企画運営や将来一緒に活動する仲間として講座に参加していただき、仲間づくりも行っています。受講生にとって、身近に先輩がいることの心強さ、普段のガイドの様子を勉強できる手軽さと安心感は大きいようです。受講生と先輩達からは、今後ガイドだけでなく楽しいイベントの企画や大学生と協力して何かをやってみたいとの声があがり、今後の活躍が期待されます。



## 高校生がつくる「栃木の街散策マップ」

とちぎ高校生蔵部では、高校生にもっと蔵の街とちぎを知って、楽しんでもらいたいとの思いから、高校生視点でつくる「栃木の街散策マップ」を製作しました。この企画は、栃木県わかまち協働推進事業補助金を活用した、「マチナカプロジェクト(代表 大波龍郷氏)」と「しるし工房(本田彩夏氏)」とのコラボ事業です。また、使用した写真は、國學院大学栃木高等学校と栃木農業高等学校の写真部に撮影の御協力をいただき、市内の高等学校との連携も図ることができました。栃木市をフィールドに活躍されている方々と一緒に取り組めたことは、とちぎ高校生蔵部にとっても栃木市を再発見する機会となりました。そして、何よりも取材に御協力いただいたお店の方々の温もりを感じることができました。3月にはガイドツアーも実施予定です!



## 県立学校等の取組を紹介します!

### 「小山高等学校の取組」

小山高校では、生徒会や社会福祉委員会、部活動などを中心に清掃活動や、施設訪問などを行っています。今回は、清掃活動を中心にご紹介させていただきたいと思います。

一つ目は、生徒会が中心で行った『べっぴんタウン運動』です。結城青年会議所との連携で、国道新4号と国道50号の交差点で毎年行っている清掃活動です。車からのポイ捨てとみられるゴミが大量にあり、4時間かけて回収を行いました。活動後は見違えるようにきれいになり大人のマナーの悪さを考えさせられる活動でした。

二つ目は、野球部が中心で行っている学校周辺のゴミ拾いです。早朝から登校し、毎日野球部員が清掃を行っており、地域住民から非常に感謝されています。野球の技術だけでなく、健全な精神を持つことを第一歩とし、甲子園出場を目指しています。



## 下野市自然に親しむ会の取組「子ども達は立派な調査員」

下野市自然に親しむ会は、同市内で自然観察と保全を目的として活動している任意団体です。今回は、公民館とのコラボ事業で夏休みに行っている「親子での川の生き物観察」の活動を紹介します。毎年、公民館に親子の参加募集を依頼し、当会が観察の実務を行っています。市内の吉田地区を流れる江川を選び、事前に除草や危険物の有無を点検し、当日を迎えます。参加した親子は夢中になって採捕に精を出し、親子の会話も弾みます。生物の生態や名前を確認し、調査結果は環境省の全国水生生物調査結果として、国に報告します。子ども達は立派な自然観察の調査員の役目を果たしている訳です。

